

第4学年 体育科学習指導案

令和4年10月11日(火)

授業者 植島 直生

1 単元名 【てんやまん杯】つないで、アタック!キャッチバレーボール(ネット型ゲーム)

2 授業づくりの構想

(1) 運動の持つ特性

その運動ならではの楽しさである「機能的特性」については、規則を工夫したり作戦を選んだりして、集団対集団で友達と力を合わせて競い合ったりする楽しさや喜びに触れることができる運動である。特にキャッチバレーボールは、プレイヤーの人数やネットの高さ、使用するボールの種類や規則を工夫することにより、パスやラリーを続ける楽しさがある。

その運動の技能やルール、知識である「構造的特性」については、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動するなどのボールを持たないときの動きによって、軽量のボールを片手、もしくは両手を使ってはじき、自陣の味方にパスをしたり、相手コートに返球したりするなどの動きや技能を身に付けることができる。

その運動によって身につく体力や運動能力、態度などである「効果的特性」については、易しいネット型ゲームに取り組み、規則を守り誰とも仲よく運動したり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。

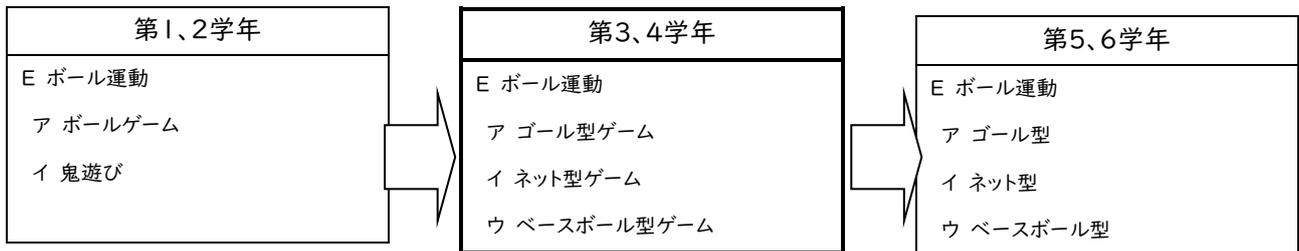
(2) 児童の実態

本学年の児童は、男子16人、女子12人、計28人で体育授業を行っている。昨年度は、ゴール型ゲーム(タグラグビー・ラインサッカー)とベースボール型ゲーム(ハンドベースボール)を学習しており、手でボールを打ったり、向かってくるボールの正面に移動したりすることは経験している。友達と協力して攻めたり守ったりして、楽しんで競い合うことができた。また、楽しいゲームになるように話し合ったり、スムーズにゲームが進行できるようにルールを工夫したりする姿も見られた。

一方で、児童の体力や運動能力に極端な差があることが課題である。ボールを打ったり取ったりすることを苦手に感じている児童もおり、少し離れた場所からパスされたボールを上手くキャッチできずに落とししまったり、飛んできたボールを怖がってよけたりする児童もいた。

アンケートでは、「楽しく運動ができそうですか?」の項目に81%の児童が肯定的な回答をしているが、「友達のよいところや自分の伸ばしたいところを見つけられそうですか?」の項目には67%の児童しか肯定的な回答をしていない点からも、上達への不安を抱いている児童が一定数居ることが見受けられた。

(3) 運動(学習内容)の系統性



(4) 単元目標

【知識及び技能】

キャッチバレーボールの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、ラリーの続く易しいゲームをすることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

キャッチバレーボールに進んで取り組み、規則を守り誰とも仲よく運動したり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

(5) 学びへの働きかけ(指導の意図)

<p>1 単元構成</p> <p>授業のはじめにはオリエンテーションを行い、見通しを持たせることで、ラリーゲームからアタックゲームへと繋げていきたい。準備運動としてパスゲームや投げ上げキャッチを位置づけ、基本的なボール操作になれることで、主運動へつなげられるようにする。活動1では、易しいゲームを行うなかでゲームの行い方を知り、パスやキャッチなどの基本的なボール操作を身につけることをねらって、ラリーゲームを設定する。ラリーゲーム①②では、同一チーム内で、ラリーゲーム③では別のチームで3人対3人に分かれ、ラリーをする。1ゲーム3分で、ラリーの続いた回数を点数にすることで、早くボールを回す必要性が出るため、自然と基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きが身に着くと考えられる。活動2では、身に付けた動きをもとにして、相手コートにボールを落とすことをねらったアタックゲームを設定する。</p>
<p>2 ICT 機器の活用</p> <p>ラリーゲーム・アタックゲームでは、タブレットを活用して作戦を立てることで考えの提示が容易にでき、電子黒板に映し出してクラス全体で共有しやすくする。また、過去の作戦を振り返ったり、他チームの作戦を参考にしたりすることもできるので、作戦を選ぶ際の参考にさせる。また、ふり返りの一部にもタブレットを活用することで時間の短縮を図ると同時に、課題の把握を容易にし、次時へ生かす。</p>
<p>3 場の設定</p> <p>活動1、2では、ゲームをする場の準備や片付けが自分たちでできるように、掲示物を準備する。ネットは児童が設置することができるような簡易な支柱とロープを使用する。ゲームにおいては、コート内の人数を3人にすることで、全員がボールに触れる機会を作る。活動1、2では、ネットの高さを180cmに設定し返球に高さを持たせることで、ボールキャッチが苦手な児童にもラリーが続きやすくなることをねらう。また、ボールは50gのソフトビニールボールを使用し、児童のキャッチしやすさを重視する。</p>
<p>4 言語活動</p> <p>「キャッチバレーボールのツボ」として、ラリーが続いたり、アタックが成功したりしたコツをホワイトボードに書き込み、貯めていくことで、児童同士で関わり合いながら高め合っていけるようにする。また「ふり返り板」に毎時間シールを貼らせることで児童自身が「楽しさ」と「できばえ」の推移を把握することができ、その理由を「わたしたちの体育」へ書き込めるようにする。</p>
<p>5 児童の問いと教師の問いかけ</p> <p>どうすればボールをつなげていけるのか、という中心課題にして、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きに焦点を当て、児童が作戦を立てる中で予想・仮説を立てさせ、ゲームをする中で検証させる問題解決的な学習ができるようにする。</p>

(6) 単元の「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方

関わり	中学年	具体的な活動・姿
する	・基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動するなどのボールを持たないときの動きによって、軽量のボールを片手、両手もしくは用具を使って、自陣の見方にパスしたり、相手コートに返球したり、弾むボールを床や地面に打ちつけて相手コートに返球したりして、ラリーの続く易しいゲームをする。〈知識及び技能イ〉	・パスゲーム ・投げ上げキャッチ ・サーブ、パス、返球 ・ボールの落下点や正面に動く
みる	・ゲームやそれらの練習の中で互いに動きを見合う。〈学びに向かう力・人間性等オ〉	・見つけたコツ(掲示物)と見比べて、友達のよい動きを見つける。
支える	・ゲームの規則を守り、誰とでも仲よくする。〈学びに向かう力・人間性等イ〉 ・ゲームで使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にする。〈学びに向かう力・人間性等ウ〉 ・見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認める。〈学び	・ルール(掲示物)を確認し、守る。 ・用具の準備や場を整備をする。 ・アドバイスを送る。 ・まとめの時間に、見つけたコツを

	に向かう力・人間性等オ)	発表し合う。
知る	・ネット型ゲームでは、その行い方を知る。〈知識及び技能イ〉	・「わたしたちの体育」を活用して、ゲームの行い方を理解する。 ・立てた作戦を実践する。

(7) 単元の流れ及び評価の計画

	1	2	3	4	5	6(本時)	7
主なねらい	学習の進め方を理解しよう。	ボールがつながる工夫を考えて、簡単なゲームをしよう。			ルールを工夫したり、作戦を選んだりして、ゲームをしよう。		
核となる学習活動	・学習の進め方 ・ルールの確認 ・ゲーム	・バスゲーム ・投げ上げキャッチ ・ラリーゲーム			・作戦の選択 ・アタックゲーム ・ルールの工夫		
学習活動	○オリエンテーション ① 学習の目標と進め方を知る。 ② 用具等の使い方について知る。 ③ きまり、学習の場、安全面について知る。 ④ パスゲーム・投げ上げキャッチ ⑤ 学習のまとめの仕方を知る。	活動1 ラリーゲームをする ① パスゲーム 投げ上げキャッチ ② めあてを確認する。 ③ ラリーゲーム ④ うまくいったことや課題について、チームや全体で伝え合う。 ⑤ 共有したポイントを意識して、もう一度ラリーゲームを行う。 ⑥ 本時のまとめをする。			活動2 アタックゲームをする。 ① チーム練習 (パスやサーブなど、こつや作戦を意識して) ② めあてを確認する。 ③ 作戦を選んでアタックゲームを行う。 ④ うまくいったことや課題について、チームで話し合い、簡単な作戦を立て直す。 ⑤ 作戦を意識して、再度ゲームをする。 ⑥ 本時のまとめをする。		
評価の計画	知		①(観察)	②(観察)		③(観察)	
	思			①(観察)	②(観察)		①(観察) ②(観察)
	態	①(観察)	⑤(観察)		④(観察)	②(観察)	③(観察) ④(観察)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① キャッチバレーボールの行い方を理解している。 ② パスや返球などの基本的なボール操作ができる。 ③ ボールを操作できる位置に体を移動することができる。	① ルールを工夫したりゲームに応じた簡単な作戦を選んだりしている。 ② 考えたことを友達に伝えている。	① キャッチバレーボールに進んで取り組もうとしている。 ② 規則を守りだれとでも仲よく運動をしようとしている。 ③ 勝敗を受け入れようとしている。 ④ 友達の考えを認めようとしている。 ⑤ 場や用具の安全に気を付けようとしている。